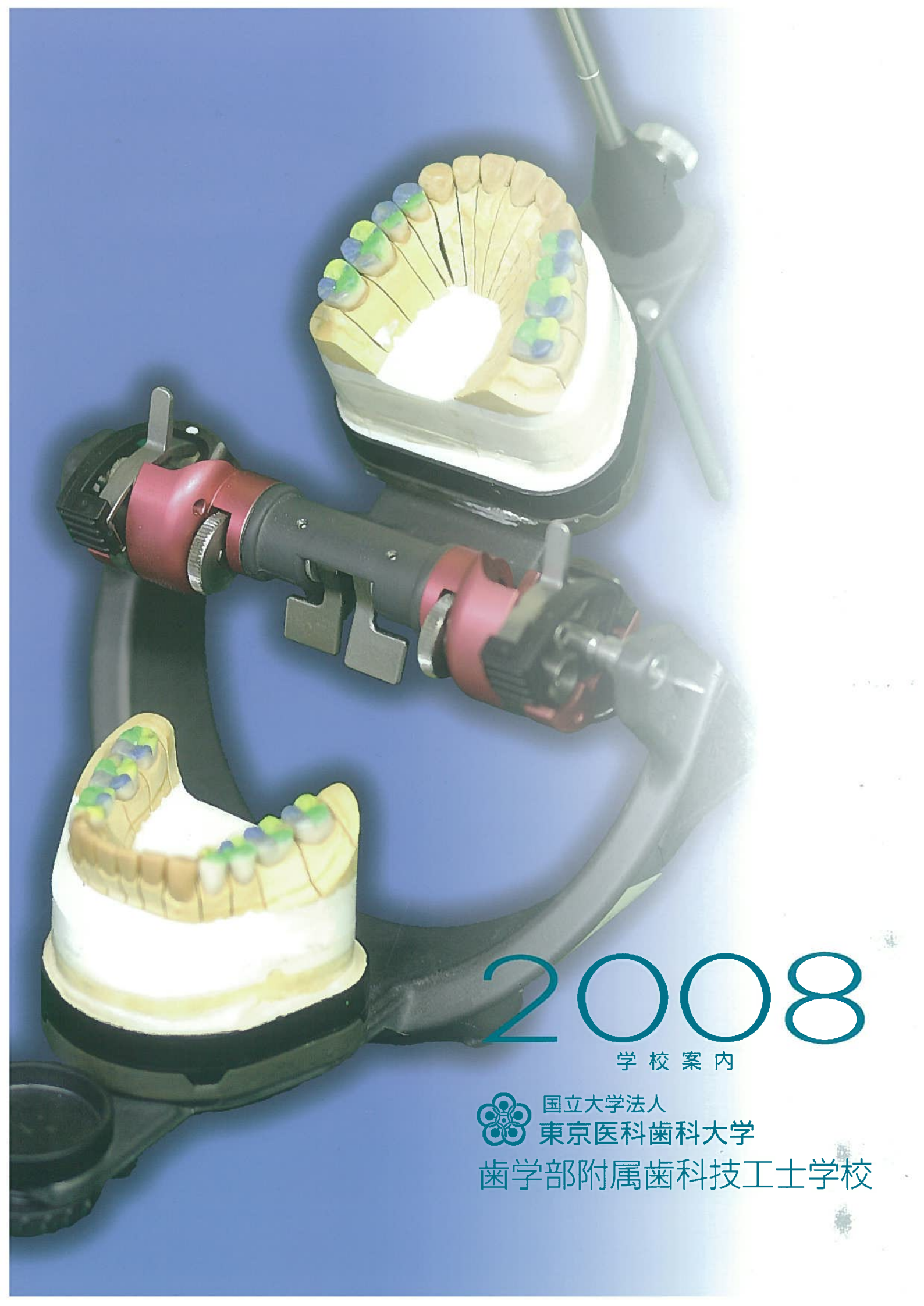


A photograph of dental study models and an articulator. The top model is a maxillary (upper) dental arch with yellow teeth and blue and green wax bites. The bottom model is a mandibular (lower) dental arch with similar teeth and wax bites. They are mounted on a black articulator with red and grey components. The background is a solid blue color.

2008

学校案内



国立大学法人
東京医科歯科大学

歯学部附属歯科技工士学校



受験生の諸君へ

歯学部長
田上 順次

東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校は、昭和4年、東京高等歯科医学校（東京医科歯科大学の前身）に、本校の前身である技工手養成科が設置されたのが始まりです。国立の歯科技工士養成機関としては、我が国最古の歴史と伝統を持ち、歯科技工学の発展を牽引することによって、我が国の歯学に多大な貢献をしてきました。

本校は、お茶の水の高台にある東京医科歯科大学の構内にあり、交通至便の地に位置し、付近には湯島聖堂を始め、数々の大学、医科大学病院等があり、文化の中心地でもあります。このような地の利を生かして、本学には国内はもとより、諸外国からの来客が数多く訪れるところであり、情報の収積基地であって、また発信基地でもあります。

皆さんは入学すると、このお茶の水の地で、講義や実習、あるいはクラブ活動などの学生生活を送るわけですが、特に臨床実習は、我が国随一の近代的設備を持った歯学部附属病院で行われるため、患者さんを対象とした、内容の濃い、実際に即した技能が修得できます。また、この臨床実習では、歯学部専任の歯科医師、歯科技工士の教員から直接指導を受けます。

皆さんもご承知のように、近代歯学の発展はまことに目覚ましいものがあり、とくに近年の再生歯科医学などの発達、歯科治療の方法にも大きな変革をもたらしつつあります。これからの歯科治療は、歯科医師一人だけでできるものは数少なくなり、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の三者が分担協力して行わなければ、完全な治療ができなくなって来しております。これから歯科技工士学校へ進学される皆さんは、コ・デンタルスタッフとして歯科医療の一翼を担う、重要な位置付けが要求されてきております。

日本の歯科医療の水準を一層高め、広く社会の要請に添えてくれる期待を込めて、歯科医療への熱意に燃える皆さんと、本学でお目にかかれる日の来ることを、心から待っております。

沿革

本校は75年余りの伝統を持ち、多数の人材を斯界に送り高い評価を得ています。平成7年3月の卒業生から「専門士（医療専門課程）」の称号が付与されるようになり、ますます社会的な評価の向上が期待されています。

大正8年
昭和4年
昭和27年
昭和32年

文部省歯科病院（一ツ橋）において、歯科技工手養成が始まる
東京高等歯科医学校に技工手養成科を設置
歯学部附属歯科技工士学校を設置
実習科を設置



現在の東京医科歯科大学所在地周辺（明治30年）

歯科医療の一翼を担う、 プロフェッショナルを目指して

歯科技工とは 歯科技工士学校長 三浦 宏之



口の中の健康を維持し、おいしいものを何でも食べることができるということは、人間の基本的な楽しみでもあり、快適な食生活を送るということは健康の維持にも大変重要です。歯並びや歯の色が原因で、その人の性格や社会的活動にまで影響すること少なくありません。そうした意味で歯科医療は、私たちの心身の健康や社会性に大きな関連性を持っています。

むし歯や歯槽膿漏などによって歯の一部や歯そのものを失ってしまった患者さんに対して、歯科医は人工的な修復物によって失われた形態と機能を回復します。歯の本来の働きや、審美的な外観を回復して初めて患者さんの満足が得られます。患者さんの満足が得られなければ治療が終了したことになりませんから、それらの技工物を製作する歯科技工士の果たす役割は大変重要で、その技術により治療の結果に大きな差になって表れてきます。患者さんの満足が得られるかどうかは歯科技工士の腕にかかっていると言っても過言ではありません。歯の色や形、口の形態はひとりひとり異なり、審美的で自然な色調の歯に回復させたり、良く適合した機能的な義歯を作るには高度な歯科技工士としての訓練が必要です。

超高齢化社会を迎えた現代においては、疾病構造も複雑化し、様々な要求に対して高レベルで対応できる必要があり、歯科技工士に対する期待と要求が一段と大きくなってきています。

目的及び使命

歯科技工士とは、歯科医師の指示により、義歯、充填物及び小児、矯正装置を製作することを業とする、歯科医療の重要な一分野を担う技術者です。近年、歯科医療はとみに進展複雑化し、その一翼を担う歯科技工士に対する期待は、ますます強くなっています。本校は、この歯科技工士の資格を得るために必要な専門教育並びに技術を習得することを目的としています。



東京高等歯科医学校第一附属医院(昭和6年頃)

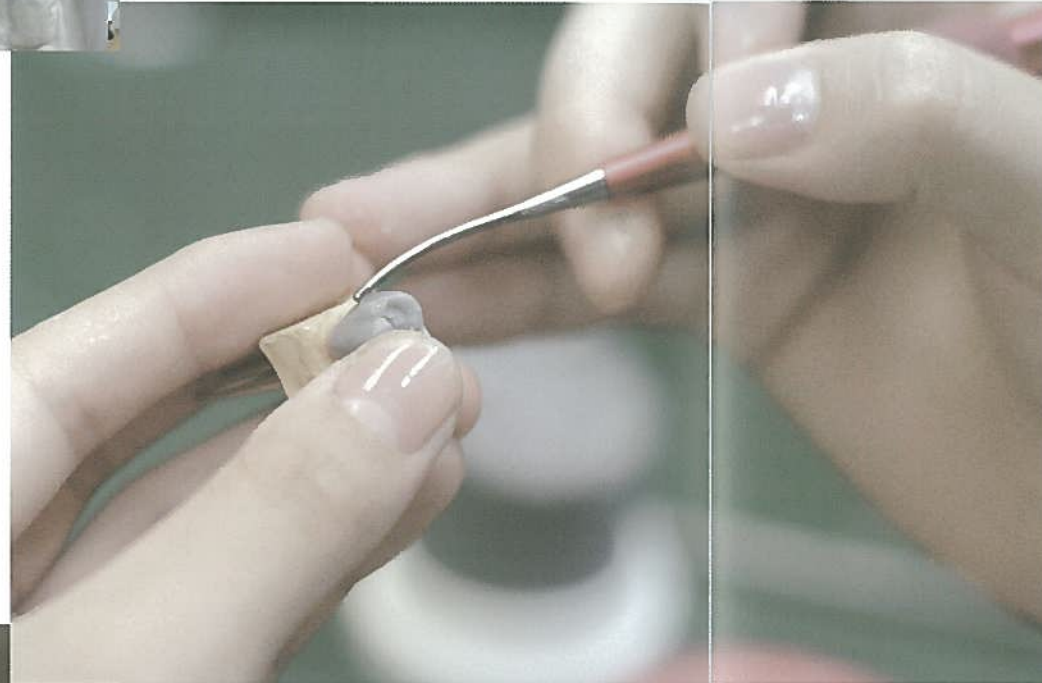


2号館(昭和9年)



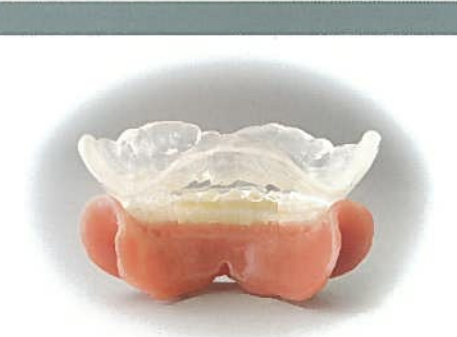
湯島地区全景(昭和27年頃)

知識と技術、そして希少な臨床 実習を通して歯科医療の心を学ぶ



歯科技工士学校の本科とは

高齢化社会を迎えた現在、より高度な歯科医療技術の提供が求められており、コ・デンタルスタッフとして高い技術と共に、深い知識と社会性が求められています。これらの要請に応えるべく、人間性に溢れ、指導的役割を果たすことの出来る歯科技工士を養成しています。



歯科技工士学校の教科目とその内容

(本科課程)

	1年	2年
	●入学式 ●オリエンテーション(4月) ●学科(講義・実技)	●学科(講義)
I 学期 (4~8月)	外国語・保健体育 造形美術概論 歯科技工学概論 歯科理工学 歯の解剖学Ⅰ 有床義歯技工学(全部床義歯) 精密鋳造学 歯科技工機器学 情報処理技工学	保健体育 歯科技工学概論Ⅱ 顎口腔機能学 選択必修科目 ●基礎実習 歯の解剖学実習 顎口腔機能学実習 選択必修科目 (有床義歯技工学実習) (歯冠修復技工学実習)
II 学期 (9~11月)	保健体育 歯科技工学概論 歯科理工学 歯の解剖学Ⅱ 矯正歯科技工学 有床義歯技工学(部分床義歯) 歯冠修復技工学(冠・橋義歯) 歯冠修復技工学(保存修復)	保健体育 歯科技工学概論Ⅱ 関係法規 ●基礎実習 歯の解剖学実習 有床義歯技工学実習 歯冠修復技工学実習 矯正歯科技工学実習 小児歯科技工学実習 ●歯科技工実習 (臨床実習) 総合実習
III 学期 (12~3月)	外国語・保健体育 歯科技工学概論 歯科理工学 歯の解剖学Ⅱ 小児歯科技工学 有床義歯技工学(部分床義歯) 歯冠修復技工学(冠・橋義歯) 歯冠修復技工学(保存修復)	保健体育 歯科技工学概論Ⅱ ●歯科技工士試験(2月) ●卒業式

歯科技工士学校……実習科



これからの歯科技工士に要求される、
高い技術水準と研究の最先端がここにある

歯科技工士学校の実習科とは

本科課程を修了し、歯科技工士免許を取得した者を対象にしています。専門的により高度に、また、幅広い知識と豊かな人間性を備えた医療専門技術者としての指導者の養成を目指し、社会に貢献できる人材育成を行っています。

実習科の教育方針

1. 多種類の歯科修復物などの製作を通じて、高水準な歯科技工の理論と技術力を養う。
2. 技術・機材等、歯科技工全般にわたり、研究開発していく能力を養う。

上記のことを教育目標とし、本科課程において習得した学術を基礎に、実習科での専門教育を通して更に学術の理解を深め、医療技術者としての自覚を高める。



歯科技工士学校の教科目とその内容

(実習科課程)

	1年	2年
	●入学式 ●オリエンテーション(4月) ●学科(講義)	●学科(講義)
I 学期 (4~8月)	理工特論 補綴特論 技工特論 矯正特論 ●基礎実習 歯牙形態学 有床義歯工学 (全部床義歯) 部分床義歯 冠・橋義歯工学	理工特論 補綴特論 技工特論 ●保健体育
II 学期 (9~11月)	理工特論 補綴特論 技工特論 矯正特論	理工特論 補綴特論 技工特論 ●保健体育
III 学期 (12~3月)	理工特論 補綴特論 技工特論 矯正特論 ●歯科技工実習 臨床実習	理工特論 補綴特論 技工特論 ●卒業研究 ●卒業式

年間行事

APRIL

- 入学式
- 新入生校外オリエンテーション

MAY

- 体育祭
- 集中体育実技

JULY

- 進路ガイダンス

SEPTEMBER

- 臨床実習オリエンテーション
- 集中体育実技

OCTOBER

- 創立記念日
- お茶の水祭

NOVEMBER

- 研修旅行

FEBRUARY

- 歯科技工士試験

MARCH

- 卒業式

Voice



本校の一番良いところは、少人数で交流しやすく、先輩と後輩がとても仲良しなところです。入学して、この仲の良さには驚きました。どの学年も一人一人の個性が生かされていると思います。また、積極的に勉強できる環境も整っており、先生方も熱心に指導して下さるため、一生懸命やればやるほど、技術を磨くことができます。環境の良さは、経済的なことや交通機関が便利なことにもあります。本校には全国から人があつまるため、いろんな刺激もあり、在学中にはたくさんの情報が入ってきます。二年後には技工士です。二年間、この環境をどう使うかは自分次第です。一緒に歯科技工を学んでみませんか？

勝間田 優 さん 実習科:1年在学中

卒業後の進路状況

●歯科技工士学校・本科

	卒業生数	就職状況				
		公立病院等	歯科病院等	歯科技工所等	その他	計
平成19年度	20人	0人	1人	7人	3人	11人
平成18年度	18人	0人	2人	6人	1人	9人
平成17年度	21人	0人	3人	7人	0人	10人

	進 学
平成19年度	9人
平成18年度	9人
平成17年度	7人

	歯科技工士試験		
	受験者数	合格者数	合格率
平成19年度	20人	20人	100%
平成18年度	18人	18人	100%
平成17年度	21人	21人	100%

●歯科技工士学校・実習科

	卒業生数	就職状況				
		公立病院等	歯科病院等	歯科技工所等	その他	計
平成19年度	10人	0人	3人	6人	1人	10人
平成18年度	9人	0人	2人	6人	1人	9人
平成17年度	9人	0人	4人	5人	0人	9人



林 政利 さん
本科:平成9年卒

歯科技工士は、歯科医師と連携して患者さんにあった、よりよい補綴物（さし歯や入れ歯）を作り上げる仕事です。歯科技工士の技術力によって、歯科治療の是非を左右すると言っても過言ではありません。

現在、高度な技術を持った歯科技工士が求められています。優れた技術を身に付ければ、世界中に活躍の場が広がります。また、独立・開業の道も選択できます。

この学校では、数多くの患者さんが訪れる歯学部附属病院で在学中に臨床経験を積むことができます。患者さんの笑顔は歯科技工士の腕にかかっています。みなさんも歯科技工士という仕事にやる気と情熱を注いでみませんか。

OB's Voice



池田 正臣 さん
本科:平成12年卒
実習科:平成14年卒

口の健康は豊かな人生を過ごすうえで必要不可欠なものです。歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士などのコ・デンタルスタッフは、コミュニケーションを図り、患者さんのために専門的な力を発揮しています。コ・デンタルスタッフのなかで臓器としての人工の歯を主に製作しているのが歯科技工士です。

本学では患者さんのニーズに応え、よりよい歯科医療を提供できるように、常に新しい材料や技術の研究開発が進められています。また、在学中には新入生オリエンテーション、球技大会、歯科材料メーカー見学などの課外授業があり充実した学校生活を送れます。さらに、大学附属病院の様々な臨床ケースを学ぶことができるのも、歯学部附属学校ならではの特色です。

附属図書館および保健管理センター

附属図書館

湯島地区に本館、国府台地区に分館があり、医学と歯学の学習、教育及び研究に必要な図書や雑誌を収集、整理、保存しています。本館は土曜・休日も開館し、学生・教職員に快適な学習・研究の場を提供しています。

《開館時間》

- 本館…[平日]9:00～22:00/[土曜日・日曜日・祝日]9:00～17:00
- 国府台分館…[平日]9:00～20:00/[土曜日・日曜日・祝日]休館
[平日]9:00～17:00(夏休み・その他の休業期間中)

《蔵書冊数》平成19年3月31日現在

区 分	和 書	洋 書	計
本 館	106,214	149,408	255,622
国府台分館	60,266	16,552	76,818
合 計	166,480	165,960	332,440



保健管理センター

学生の心身の健康の保持・増進を図り、学生が健康な学園生活を過ごせるよう、指導・助言することを目的として設置されています。

専任の医師、看護師が学生の健康保持・増進、身体的・精神的諸疾患の予防・相談等の業務を行っています。



附属学校と大学施設の所在地

所在地

《湯島地区》〒113-8549 東京都文京区湯島1-5-45

《駿河台地区》〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10

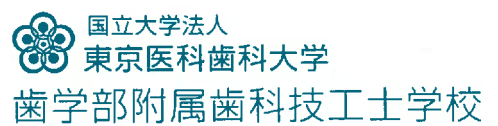
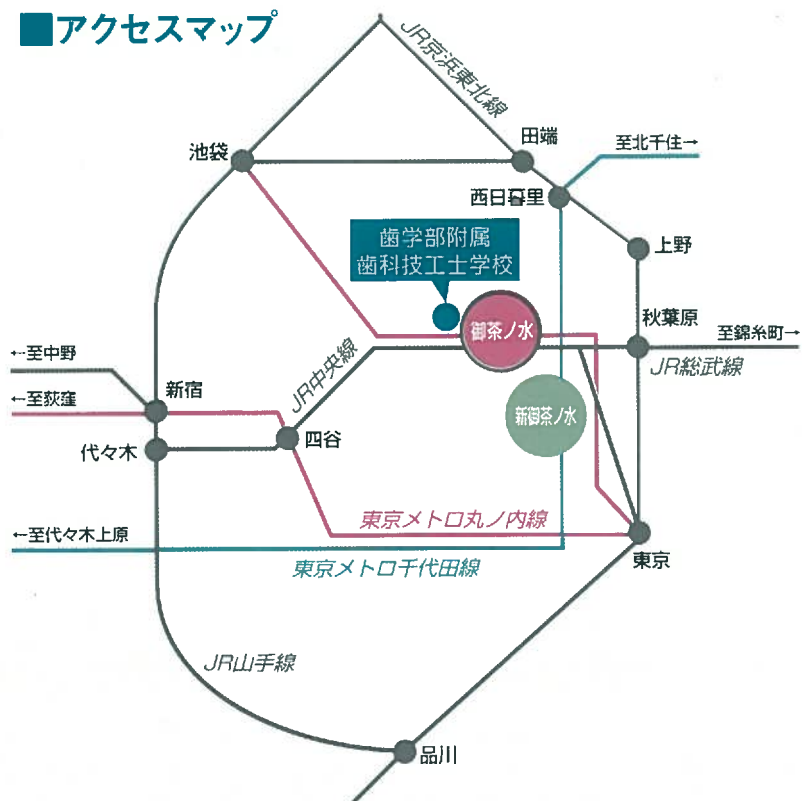
《国府台地区》〒272-0827 千葉県市川市国府台2-8-30 (教養部)

施設案内図



- | | | |
|-------------------------|--------------------------|--------------------|
| 1 1号館・管理棟 | 8 3号館 | 16 生体材料工学研究所 |
| 2 2号館
(歯学部附属歯科技工士学校) | 9 医科新棟 | 17 難治疾患研究所 |
| 3 歯科研究棟 | 10 医歯学総合研究棟 (I期棟) | 18 駿河台臨床研究棟 |
| 4 歯学部校舎棟・動物実験施設棟 | 11 医歯学総合研究棟 (II期棟) (工事中) | 19 看護師宿舎 (レジデンス茗芳) |
| 5 歯科棟 | 12 5号館 | |
| 6 歯科外来事務棟 | 13 6号館 | |
| 7 総合教育研究棟 | 14 共同研究棟 | |
| | 15 RI実験施設棟 | |

■アクセスマップ^o



歯学部 総務課 教務掛

〒113-8510 東京都文京区湯島1-5-45

TEL.03-5803-5411

ホームページ <http://www.tmd.ac.jp/>